



令和3年12月8日14時00分
資料配布 近畿地方整備局
大規模土砂災害対策技術センター
紀伊山系砂防事務所

ドローンの全自動飛行による施設点検を実施します

～ DXを推進して、砂防堰堤等の施設点検を効率化・省力化～

▽本取り組みは、砂防施設の近傍に設置したドローン基地から、ドローンが全自動飛行して、施設点検を行う実証実験です。砂防事業として日本初の取り組みとなります。

▽ドローン導入による点検作業の効率化・省力化はもとより、将来的には砂防施設点検や危険箇所の監視を完全自動化するモデルケースとしての運用を目指します。

1. 日 時 令和3年12月15日（水） 13時30分から15時15分まで
2. 場 所 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町
国土交通省 近畿地方整備局 大規模土砂災害対策技術センター
（別図参照）
3. 取材について マスコミ関係者で取材を希望される方は、
12月13日（月）15時までに別紙をご確認のうえ、電子メール
（kkk-sankei-otayori@mlit.go.jp）でお申込みください。

【集合場所及び時間】

電車で来られる方：JR 紀伊勝浦駅 東口 13時00分

※事務所の官用車で紀伊勝浦駅から大規模土砂災害対策技術センターまでの送迎を予定しています。

車で来られる方：大規模土砂災害対策技術センター 13時20分

4. 注意事項 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクの着用や手指のアルコール消毒、検温などをお願いします。

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、和歌山県政記者クラブ、和歌山県政放送記者クラブ、和歌山県地方新聞協会、奈良県政・経済記者クラブ

<問合せ先> 国土交通省 近畿地方整備局 紀伊山系砂防事務所

①事業全般に関すること ふくしよちよう 副所長（技術） たむら 田村 ともひで 友秀

②当日受付に関すること そうむ 総務課長 かちよう 秦 はた 建造 けんぞう

電話 0747-25-3111（代表）

○取材のご案内

1. 開催概要

取材時間	: 令和3年12月15日(水) 13:30~15:15
取材箇所	: 大規模土砂災害対策技術センター
集合場所	: JR 紀伊勝浦駅東口または大規模土砂災害対策技術センター (別図参照)
移動手段	: 官用車(国土交通省で用意)または社用車
中止時順延日	: 令和3年12月16日(木) 13:30~15:15

2. 当日スケジュール

※電車の方はJR 紀伊勝浦駅東口へ、車の方は大規模土砂災害対策技術センターの駐車場へ直接お越しください。

13:00	JR 紀伊勝浦駅東口に集合(電車の場合) (大阪方面から:くろしお1号(新宮行き)11:40紀伊勝浦着など) (名古屋方面から:南紀1号(紀伊勝浦行き)11:56紀伊勝浦着など)
13:05	JR 紀伊勝浦駅東口を出発
13:20	大規模土砂災害対策技術センター駐車場に集合(車の場合)
13:30	大規模土砂災害対策技術センターにてドローンによる全自動点検を実施
15:15	ドローンによる全自動点検を終了、車でお越しの方は解散
15:25	大規模土砂災害対策技術センターを出発
15:40	JR 紀伊勝浦駅東口にて解散 (大阪方面へ:きのくに本線(紀伊田辺行き)16:16紀伊勝浦発など) (大阪方面へ:くろしお36号(新大阪行き)18:04紀伊勝浦発など) (名古屋方面へ:南紀8号(名古屋行き)17:11紀伊勝浦発など)

3. 取材申込方法

取材希望の方は、令和3年12月13日(月)15:00までに別紙をご確認の上、電子メール(kkr-sankei-otayori@mlit.go.jp)でお申込みください。

また、送迎車両の関係上、申込多数の場合は参加人数を調整させていただく場合がございますのであらかじめご了承ください。

4. 取材についてお願い

- 集合時間は、JR 紀伊勝浦駅東口は13:00、大規模土砂災害対策技術センターは13:20となります。時間厳守でお願いいたします。
- 昼食は各自で済ませてこられるか、各自でご用意ください。
- 当日の天候や現地状況により、中止あるいは立ち入り制限がかかる場合があります。
- 実証実験を中止する場合には、前日の12:00までに取材申込をいただいたメールアドレスに中止の旨をご連絡いたします。
- 当日中止となった場合は、12月16日(木)に順延いたします。

【新型コロナウイルス感染拡大防止に関する留意事項】

- 咳などの風邪症状、発熱等、体調不良のある方は参加をご遠慮下さい。
- 取材の途中で頻回に咳をする方がいた場合、退席を要請する場合があります。
- 取材中のマスクの着用など、参加される方ご自身で感染予防対策をお願いします。
- うがい、手洗いの励行をお願いします。
- 参加者への感染防止を考慮し、職員はマスク着用等によりご案内させていただきます。

取材を希望される方は、令和3年12月13日(月)15時までに電子メールにて事前申込みをお願いします。

紀伊山系砂防事務所 総務課宛 メールアドレス(kkr-sankei-otayori@mlit.go.jp)

■件 名:実証実験見学会 取材申込書

■本文記載内容:①報道機関名

②取材者名(ふりがな)

③随行者名(ふりがな)

※複数名で参加を希望される場合は、全員のお名前を記載してください

④連絡先(TEL)

⑤連絡先(メールアドレス)

⑥集合場所

※紀伊勝浦駅・大規模土砂災害対策技術センターのいずれかを記載してください

⑦車の台数

※大規模土砂災害対策技術センターに自社用車でお越しの際は記載してください

【備考】

- ・取材は必要最低人数でお願いします。
- ・お手数ではございますが、電子メール送信後、受信確認のため下記の確認先までご連絡ください。

(確認先)

紀伊山系砂防事務所 総務課 TEL : 0747-25-3111 (代表)

○集合場所位置図

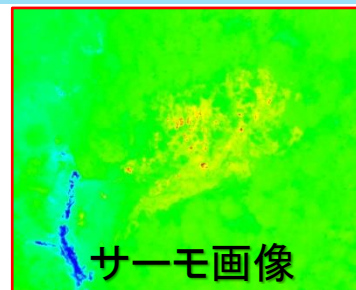
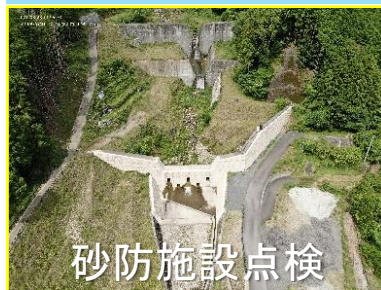
別図



ドローンによる砂防施設の全自動点検・リアルタイム監視の実施概要

- 那智川流域(内の川溪流)は、土砂流出などの異常が発生した場合、溪流に近づくのは危険が伴います。
- こうした場所の点検や調査ではドローンが有効な手段となり得ますが、ドローンを飛行させる人員の手配には時間を要するため、迅速な点検・調査には至りません。
- この課題を解決すべく、ドローンの全自動飛行を用いた施設点検および溪流調査の実証実験を行います。
- 今回の技術的な特徴は、施設の近傍にあらかじめ設置したドローン基地(ドローンポート)から、「ボタン1つで」迅速にドローンを離陸させ、決められたルートに従い、ドローン単独で飛行して点検・調査を実施できることです。
ドローン着陸後、撮影データはドローンポートよりクラウドへ自動転送されます。撮影データの早期取得により、初動対応やデータ解析の迅速化に繋がります。

全自動飛行による砂防施設点検・溪流崩壊地調査

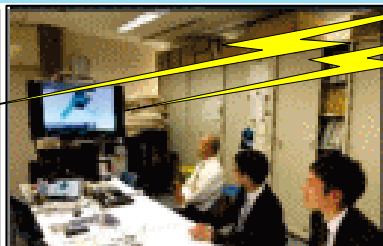


自動飛行の一時停止・再開やカメラ角度調整を遠隔制御



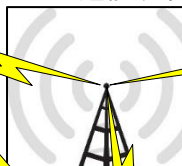
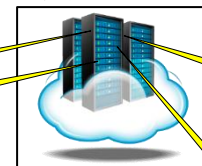
崩壊地調査

リアルタイム映像伝送による現場の状況把握

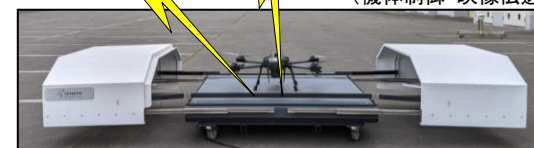


クラウドサーバー

LTE 通信鉄塔



LTE・インターネット回線
(機体制御・映像伝送)



大規模土砂災害対策技術センター・遠隔拠点での映像・画像確認

ドローン基地(ドローンポート)